

授業科目

相談援助各論II

担当教員名 河野 聖夫	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎		○	○

授業の概要

社会福祉士（国家試験）に必要な相談援助の理論と方法について、テキストや事例を通じて、相談援助の実践過程を踏まえながら学習する。この授業では、相談援助の基礎となる展開方法（相談援助の実践過程とその方法の基盤）を中心に学んでいく。相談援助の基本的な実践方法と流れを学ぶ場面となる。

授業の目的

相談援助やソーシャルワークの実践過程を、ジェネリックな視点から理解することによって、どのように適用するかを考察する。テキストや事例を通じて、相談援助の実践過程について学習する。特に社会福祉における相談援助実践の展開方法を、実践事例による考察を図りながら習得していく。

学習目標

- 1 相談援助の展開過程（流れ・手順）で用いられる専門技術についてを理解し、思考過程（考え方）を習得する。
- 2 相談援助の実践過程（理論・方法）を理解する。
- 3 ソーシャルワークの実践過程における展開方法を理解し習得する。
- 4 相談援助における記録の技術と活用方法を理解し習得する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション ソーシャルワークの実践とは何か	相談援助各論Iを振り返り、学習課題を把握する。 実践事例を通じて、ジェネラリストソーシャルワークについて理解する。	河野 聖夫
2	第5章 相談援助の展開過程の流れ	相談援助の展開過程の重要な主旨を理解する。	河野 聖夫
3	第5章 ケース発見	ケース発見段階における相談援助の方法と留意点について知識をもつ。	河野 聖夫
4	第5章 受理面接	インテーク（受理面接）段階の実践内容を理解する。	河野 聖夫
5	第5章 問題把握からニーズ確定まで 第8章 契約の技術	問題の明確化の実践内容を理解する。	河野 聖夫
6	第5章 アセスメント 第9章 アセスメントの技術	アセスメントの視点と方法を理解する。 アセスメント・ツールの活用を理解する。	河野 聖夫
7	第5章 支援計画 支援実施	プランニングと介入の方法を理解する。	河野 聖夫
8	第10章 介入の技術	支援（介入）や連携の視点と技術の基礎を理解する。	河野 聖夫
9	第6章/第11章 モニタリング、再アセスメント	モニタリングと再アセスメントの意義を理解する。	河野 聖夫
10	第6章/第11章 効果測定 評価	終結・効果測定・アフターケアの意義と方法を理解する。	河野 聖夫
11	第6章/第14章 予防対応とサービス開発 交渉の技術	予防対応・サービス開発・連携と交渉の視点と技術を理解する。	河野 聖夫
12	第7章 アウトリーチの技術	アウトリーチの基本的な視点を理解する。 アウトリーチの技術を理解する。	河野 聖夫
13	第13章 相談援助のための記録の技術	記録の意義と方法を理解する。 ソーシャルワークにおける記録の活用を考える。	河野 聖夫
14	ソーシャルワーク実践過程のまとめ	実践事例を通じた考察を行い、学習内容を振り返る。 （ワークシートへの取り組みにより、理解度を自己点検す	河野 聖夫

		る。)	
15	全体のまとめ	ワークシートへの解説を通じて、学びを深める。	河野 聖夫

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	新・社会福祉士養成講座 7 相談援助の理論と方法I	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規			最新版
参考書	新 社会福祉援助の共通基盤 第2版 上・下	日本社会福祉士会編集	中央法規	2009年	2,400円+税	
その他の資料	適宜配布する					

評価方法

定期試験（80%）＋授業内課題（ワークシート、レポート；20%）により理解度、達成度を評価し、評点する。

履修上の留意点

予習と復習が必須である。

オフィスアワー・連絡先

第2研究棟 E305研究室 授業後の時間帯の1時間程度（開講時期に限る） および、火曜日 2時限
kouno@nuhw.ac.jp